

## 第 128 回 BA エグゼクティブサロン概要

テーマ：「医療におけるトレーサビリティの確立を目指して」

講師：落合慈之（おちあい ちかゆき）

NTT 東日本関東病院名誉院長、東京医療保健大学学事顧問

卓話概要：

トレーサビリティ (traceability) とは trace (跡をたどる) と ability (能力) より成る合成語である。ISO 規格によれば、それは“考慮の対象となっているモノの履歴、所在、適用を遡及できること”、また、欧州連合によれば、それは“予想される物質について生産、加工、流通、使用のあらゆる段階を通して、それらを追跡し遡及して調べる能力”と定義されている。

医療において対象物といえば容易に思いつくのは医薬品・医療材料・機器であるが、それ以外に、検体や標本などもトレーサビリティの対象といえる。さらに言えば、医療にあってはモノ以外にも、医療に係る情報自体がトレーサビリティの対象である。

しかし、この目的のために人手を使うようでは意味が無い。製造業や流通業の世界では、製品の一つ一つに固有のコード（識別子）を付けることが早くから行われてきた。バーコードをバーコードリーダーで読むほか、コードの内容を電子タグ(RFID)に組み込むことで、商品のトレーサビリティに係る情報を自動的に確保できるようにする技術を自動認識技術という。

トレーサビリティの確保は目的ではなく、あくまで手段である。

今こそ、医療界は他産業に習い、トレーサビリティ確保に努め、そのことを手段としてフル活用することで、医療の質・安全の改善、効率性の向上による医療費削減はもとより、自らの働き方改革にも当たるべき事を強調したい。

略 歴：

昭和 19 年 埼玉県生まれ

昭和 46 年 3 月 東京大学医学部医学科卒業

昭和 56 年 6 月 同 文部教官講師 外来医長

昭和 60 年 4 月 獨協医科大学脳神経外科 助教授

平成 8 年 4 月 JR 東京総合病院脳神経外科部長

平成 10 年 4 月 関東逓信病院脳神経外科部長

平成 14 年 4 月 NTT 東日本関東病院（旧関東逓信病院） 病院長

平成 26 年 7 月 NTT 東日本関東病院名誉院長

東京医療保健大学学事顧問

現在に至る。

医学博士（昭和 55 年 11 月 26 日）

（以上）